

囲碁・将棋チャンネル 番組審議会資料
(第 24 回、令和 7 年 7 月 24 日開催)

1 開催年月日: 令和 7 年 7 月 24 日(木)

2 開催場所: 私学会館 アルカディア市ヶ谷(5 階 赤城)

3 審議委員: 7 名(出席 6 名、書面参加 1 名)

【出席委員】

朝比奈豊(株式会社毎日新聞社 名誉顧問)

足立盛二郎(元公益財団法人日本棋院理事、元ゆうちょ銀行取締役兼代表執行役会長、
日本郵政取締役)

兵頭俊夫(東京大学 名誉教授)

中村幸雄(オフィス・サンライズ 代表、損害保険ジャパン日本興亜株式会社 顧問、
元株式会社損害保険ジャパン 代表取締役専務・監査役)

吉原由香里(囲碁棋士／公益財団法人日本棋院理事)

清水市代(将棋女流棋士／公益社団法人日本将棋連盟 会長)

【書面参加委員】 音 好宏(上智大学 文学部 新聞学科 教授)

【放送事業者側出席者】

今井 環(取締役会長)、山口哲史(代表取締役社長)、實諸祐一(取締役副社長)

岩田建一、望月陵、高田智子、丸山啓太(以上編成部)

4 議題

(1) 2 番組の審議

「日本将棋連盟×阪神甲子園球場 100 周年記念対局

藤井聡太竜王・名人 対 羽生善治九段」(将棋)

(2024 年 12 月 8 日 生放送)

「第 3 期新竜星戦 2 回戦第 6 局 一力 遼棋聖 vs 藤沢里菜女流本因坊」(囲碁)

(2024 年 11 月 30 日 初回放送)

(2) その他の番組・特別編成などのご紹介

9 月)「第 31 期銀河 丸山忠久の素顔」を放送

10 月)「第 32 期竜星 井山裕太の素顔」を放送

「ALSOK 杯 第 74 期王将戦」挑戦者決定戦のリーグ戦の模様を放送

「霧島酒造杯 第 46 期女流王将戦」の模様を生放送

11 月)「国際将棋フォーラム 2024 記念対局」を生放送

「ALSOK 杯 第 74 期王将戦」挑戦者決定リーグ戦最終一斉対局の模様を生放送

12 月)「日本将棋連盟×阪神甲子園球場 100 周年記念対局」を生放送

「第 1 回日本女子囲碁リーグ」第 5 ラウンドを生放送

- 1 月)「特別編成 囲碁の日一挙放送」第 33 期竜星位 福岡航太朗の対局を一挙放送
「ALSOK 杯 第 74 期王将戦 七番勝負」藤井王将 vs 永瀬九段を生放送
「特別編成 王将戦開幕直前一挙放送」前期の番勝負や挑戦者の対局を一挙放送
「西山朋佳女流三冠 棋士編入試験」最終戦を生放送
- 2 月)「第 13 回 J:COM 杯 ～3 月のライオン子ども将棋大会～」を放送
- 3 月)「第 50 期 棋王戦コナミグループ杯」を生放送
- 4 月)「第 4 回テイケイグループ杯 俊英戦」決勝三番勝負を生放送(～5 月)
「第 4 回テイケイグループ杯 女流レジェンド戦」を生放送
「ヒューリック杯 第 96 期棋聖戦」挑戦者決定戦を生放送
- 5 月)「ALSOK 杯 第 75 期王将戦」一次予選から注目対局を生放送
「第 1 回日本女子囲碁リーグ」第 10 ラウンドを生放送
- 6 月)「ヒューリック杯 第 96 期棋聖戦 五番勝負」藤井棋聖 vs 杉本六段を生放送
「第 1 回日本女子囲碁リーグ」決勝戦を生放送
- 7 月)「特別編成 藤井聡太 day」7 月 19 日の誕生日に出演番組を 12 時間一挙放送

5 審議内容

(1)【将棋】「日本将棋連盟×阪神甲子園球場 100 周年記念対局

藤井聡太竜王・名人 対 羽生善治九段」に関して

(委員の意見)

- ・ 率直に面白かった。甲子園の会場は何度も足を運んでいるが、ニュースでも話題になり、大方の予想を上回り面白いイベントだった。深浦九段が非常に良い解説をしており、野球に合わせて「この手はバントです」など、初心者に対する配慮が見受けられ、聞き手の武富女流初段もそれに合わせていたので噛み合っていた。
- ・ 感想戦がとても良かった。棋士が指す手は何を考えているのか素人には分からないので、棋士ご本人が答えて教えてくれるのは滅多にない事だなと思った。
- ・ 「(観客は場外観戦だったので)寒そうだな」とは思ったが「甲子園」という大きな会場でたくさんの観客を集客した将棋連盟様は素晴らしいなと感じた。囲碁界は将棋界と似たところがあるので今後囲碁界でも可能性があるのではないかなという番組でした。

(2)【囲碁】「第 3 期新竜星戦 2 回戦第 6 局 一力遼棋聖 vs 藤沢里菜女流本因坊」に関して

(委員の意見)

- ・ フィッシャー方式はよくわからないが、こんなに早く打てることに凄さを感じた。番組を見ている視聴者には好評だろうと思う。
- ・ 一手 5 秒で打つフィッシャー方式は視聴していて落ち着かない。じっくり考えて楽しむ所が囲碁の良いところでもある気がするので、ただ打てばいい、勝てばいいというのは少し違うように思う。

- ・ フィッシャー方式の試みはすごく見ていて面白い。トッププロが短い時間の中間間違えずに打つのに驚いた。
- ・ 普段から楽しく見ている番組で、持ち時間が短い中で藤沢女流本因坊が勝ったのはすごいと思った。囲碁界には持ち時間が長い時間と短い時間があり、現代人は早送りで観ることもあるので、このスピード感はすごく面白かった。
- ・ 囲碁は初心者なので、対局よりも棋士の表情を中心に見ていたがとても面白かった。
一方、囲碁・将棋チャンネルでは長い碁も見られる番組もあるので、いろいろ制作されていてよいと感じた。

(3)その他

(委員)新竜星戦はどのようなコンセプトで制作したのか？

(放送事業者)社会人や学生が通勤・通学の移動時間にサクッと見られるように制作した。

様々な意見があると思うが、色々なタイプの番組を編成することを目指している。

(委員)認定番組のはがき応募は現代に合っていないのでは。QRコード応募などを検討してみてはどうか。

(放送事業者)関係各所と検討してみたい。

(委員)単に囲碁・将棋の対局を中継するのみならず、棋士たちの人となりなど個人にフォーカスした番組を上手に編成している。特に一力遼・藤沢里菜・藤井聡太・羽生善治といったネームバリューのある棋士達の素顔は魅力的である。

以上